

「インターネットを利用した地域医療連携システム」

株式会社エスイーシー

地域の参加医療施設間をインターネット回線で接続し、それぞれの施設が保有している診療情報の相互参照を可能とし、緊密な医療連携を実現するシステムです。

サービス・システムの狙い

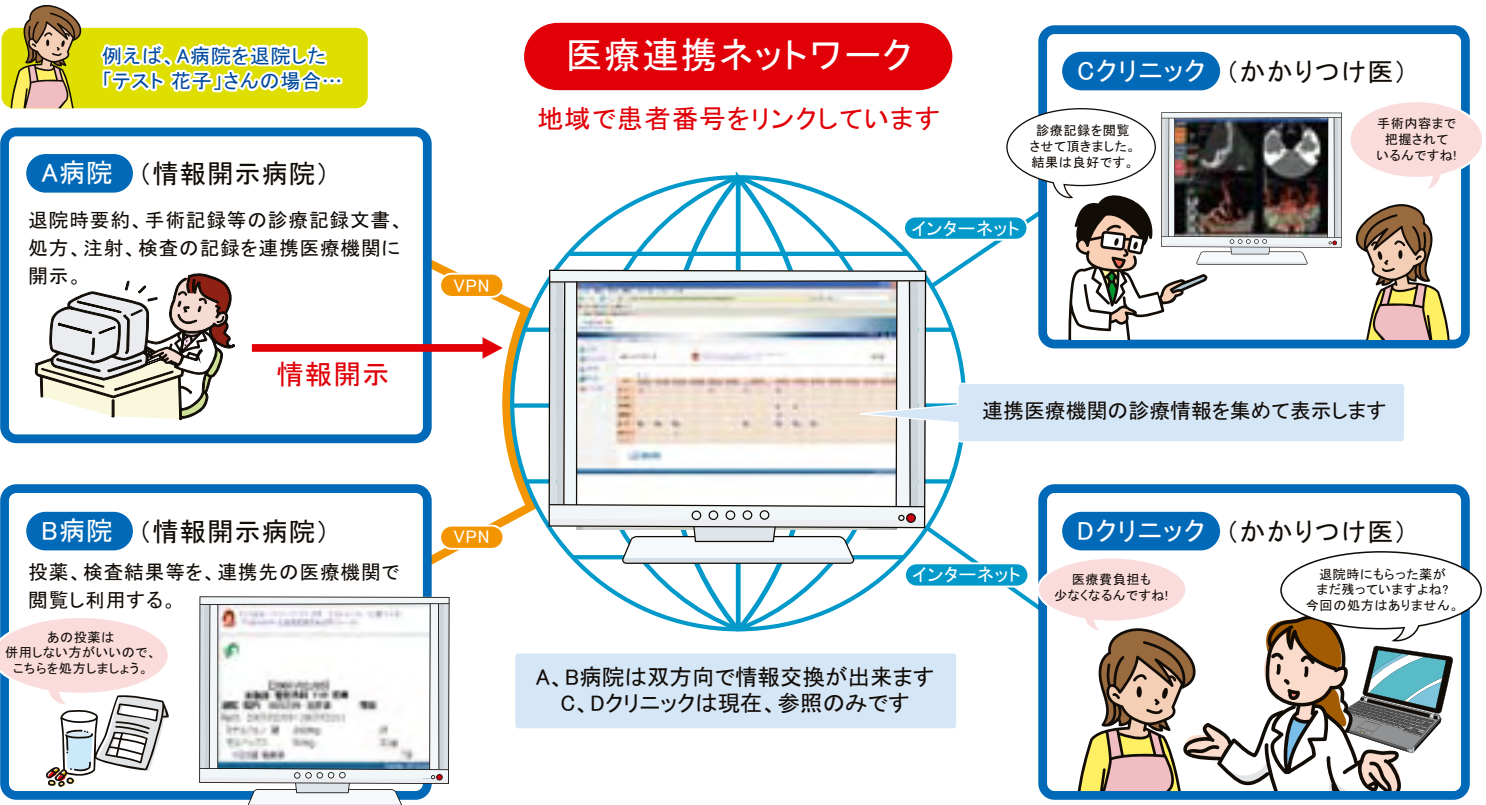
- 機能分化が進んでいる医療機関の情報共有・開示を図ることにより、医療行為の効率の改善と医療費の削減を実現します。
- 地域の限られた医療環境の中で、患者の満足度と納得性の高い一貫した医療の提供に貢献します。
- 参考URL: 道南地域医療連携協議会「道南MEDIKA」(<http://www.mykarte.org/xoops/>)

利活用の状況と導入効果

- 平成20年4月より北海道道南地域で導入を開始しました。40施設から申込みがある中、4月末現在では16施設が接続を完了し、実運用を開始しています。
- 導入効果に関しては実運用を通じた成果検証を待つ必要がありますが、回復期病院における1年間の試行実績人数に基づく試算では、投薬・検査・画像撮影の重複防止により、年間約160万円(患者1人の転入院1回につき3,610円)の削減効果が期待されています。

地域医療連携ネットワークの特徴

- 医療連携ネットワークに参加している施設の診療情報を共有できるため、一貫した医療が可能となります。
- 重複した薬の処方、検査、写真撮影を防ぐことが出来、医療の効率の改善・医療費の削減にもつながります。
- 診療情報が開示されるため、納得できる医療につながります。(地域の患者番号で情報が一元管理されます)



VPNとは・・・【Virtual Private Network】の略。データ通信の拠点間を専用回線で接続することを指します。最近では通信キャリアの持つバックボーンネットワークを利用して通信を暗号化し、専用回線のように安全な相互接続を実現する事をいいます。

● 本件お問い合わせ先

(株)エスイーシー 医療システム事業部 担当: 伊藤 TEL: 0138-23-6596 E-mail: ryujii@it.secnet.co.jp
道南地域医療連携協議会「道南MEDIKA」<http://www.mykarte.org/xoops/>